

帯広第2地方合同庁舎整備事業

地域連携懇談会（第9回）議事録

日時 令和元年10月9日（水）13:10～15:00

場所 帯広第2合同庁舎 3階共用会議室

<出席者>※順不同

委員

- ・仙北谷 康 帯広畜産大学 教授（座長）
- ・鈴木 義尚 帯広商工会議所 事務局長
- ・澁谷 洋一 株式会社造景 代表取締役
- ・畑中 三岐子 帯広市社会福祉協議会 会長
- ・山名 克之 帯広市都市建設部 企画調整監
- ・工藤 聡 帯広財務事務所 総務課長

オブザーバー

- ・竹川 暢 帯広市政策推進部政策推進室 政策主幹（欠席）
- ・中瀬 光晴 帯広財務事務所 総務課 合同庁舎管理係長
- ・山内 克彦 帯広税務署 総務課長
- ・大久 貴生 札幌国税局 会計課 営繕第一係 主任
- ・西尾 克則 帯広開発建設部 総務課長（欠席）
- ・津村 俊 帯広開発建設部 総務課長補佐（代理）
- ・谷保 明洋 帯広開発建設部 施設整備課 上席施設整備専門官
- ・樋口 千恵 アルファコート（株）専務取締役
- ・伊藤 友昭 アルファコート（株）都市開発部 主査

事務局等

- 星野 達弥 北海道開発局営繕部 営繕整備課長
- 花田 進 北海道開発局営繕部 営繕整備課 営繕監督官
- 齊藤 匡輝 北海道開発局営繕部 営繕整備課 開発専門職
- 森谷 英雄 北海道開発局営繕部 営繕計画課 営繕監督官
- 藤澤 道朗 北海道開発局営繕部 営繕計画課 調査係長

<議事次第>

- 1 開会挨拶
- 2 出席者紹介
- 3 議事
 - (1) 前回までの意見等について
 - (2) これまでの意見を踏まえた整備状況について
 - (3) 現地検証
 - (4) 意見交換
 - (5) その他
- 4 閉会挨拶

<配付資料>

議事次第・名簿・座席表

資料－1 帯広第2地域連携懇談会を踏まえた合同庁舎整備の考え方

資料－2 植栽計画について（変更前・変更後）

発言者： ●委員 △事務局等

1 開会

2 出席者紹介

3 議事

(1) 前回までの意見等について

事務局より資料-1、資料-2 の説明

- エゾムラサキツツジの開花時期は寒い時期だが、ヨドガワツツジは6月上旬頃から開花を迎える種類となっているため、敷地内の花がテンポ良く開花を迎えるのは非常に良い。エゾムラサキツツジは現在不足傾向にあり、なかなか一定の規格のものを確保が難しい。

(2) これまでの意見を踏まえた整備状況について

事務局より資料-1 の説明

(議事に対する意見なし)

(3) 現地検証

現地にて説明

(4) 意見交換

- 外構工事関係の発注時期は春先か。
△外構工事は今年の4月から始まっており、その中で植栽工事も並行して進められた。
- 芝が伸びている部分や植栽の裸地の部分に雑草が生えている状況が見られたため、今後どうするのが気になった。7月に外構工事が完了して引き渡しを行うまでは施工者が雑草を取るなどの対応を行う責任があり、引き渡し後であれば管理する側が維持管理の発注を行う必要があると思う。
△今回の外構に関しては、工事完成前に芝は刈っている。また引き渡しの段階では維持管理の注意点についても管理官署へ対して説明している。
- 今年引き渡しを受けた植栽部分については、維持管理の発注がまだ出来ていない。発注は来年度を予定している。
- 芝は週1回刈れば良いが難しいと伺っている。年に2回は草刈りを行って欲しいと話していたが、実際の維持管理はどのように考えているのか。
- 通常の土地の管理だと年2回の草刈りを行っているが、合同庁舎の管理となると専門家の意見も伺いながら維持管理方法を検討していきたいと考えている。
- 南側の公開空地により歩道が広く使えるようになったのが良い。歩行者は非常に歩きやすくなったのではないかと思う。

- 庁舎内外で木をふんだんに使っていて凄く感心した。来庁者、職員にとって非常に良い環境だと思う。1階玄関のフロアーが木の部分と円形にタイル張りされた部分がお洒落。外部の段差解消に階段だけではなくスロープも整備されていることに感激した。サインも非常に大きくて見やすい。遠くからでも駐車場の入口がよく分かるのが良いと思った。車いす駐車スペースを広く2台作られており、障害者も安心して利用できる庁舎が出来て素晴らしいと感じた。
- 北側のバス停はシェルター付きとなっているが、南側バス停はシェルターが付いていない。シェルター設置はバス事業者になるので、シェルターをつけて貰えたら良いと感じた。
△このことについては過去に設計が始まる前の段階から検討を行っていた。バス停は道路に近い泥水などがはねる可能性もあることから、道路から離れた側にあるベンチの方にシェルターを付ければバスも利用しやすくなると考えていたが、シェルター設置はコストが掛かるため、バス会社からは賛同が得られないという経緯がある。将来的にどうなるかは分からないが、これまでに検討は行ったが実現は出来なかったという経緯がある。
- 将来バス会社が変わって今後シェルターを設置したいという意向があったら、それは管理者としては問題無いのか。(シェルター自体はバス停側に設置して、屋根をベンチ側へ伸ばすイメージ)
- シェルターを設置する際に、土地の使用許可などの申請が提出されれば可能と思われる。
- シェルターの屋根をベンチへ伸ばすことによって、後ろの広場との関係が切られてしまうのが気になる。前にバスも見えるが後ろの広場も見ることができるようなデザインでのシェルター設置の検討を期待したい。
- 我々は入居する官署のため、快適に業務をさせてもらっている。入居してからこの庁舎の維持管理を行っているので、色々な意見を伺いながら庁舎管理を進めていきたい。
- 食堂の営業時間は開庁時ずっと営業しているものと思っていたが、14時で営業が終了となっていた。14時以降も用事を済ませた後に食堂でコーヒーを飲むなどの利用が出来ればと思う。食堂は外部に委託しているため仕方が無いことかもしれないが、今後食堂の利用者が増えて利用者から14時以降も使いたいという要望があれば将来的に営業時間の延長など出来たら良いと思う。これからの課題だと感じた。
- 約2年間ずっと懇談会を行ってきたが、当初はこんなにも丁寧に議論を進めて貰えると思っていなかった。委員からの要望にも丁寧に対応して頂き、営繕の良い物を作っていこうという気持ちが凄く伝わった懇談会だったと感じている。これから庁舎がどのように

活用されていくのかは市民の課題でもあり、また管理する側の課題でもあると思っている。丁寧な作り方という点で気づいたこととして、多機能トイレの配置レイアウトが階層ごとに右きき用と左きき用の両方が整備されているのは、非常に贅沢なことだと思う。道の駅などでも多機能トイレを設置しているが設置は1カ所のみの場合が多いため、右きき用あるいは左きき用を選択しなければならない。それがこの庁舎では妥協をせず、どちらでも対応出来る形での整備を行っている。是非色々な形でこの多機能トイレを活用して貰いたい。

●施設の整備を進めていく上でどのようにデザインやレイアウトをつくり上げていくかの議論を行った。こういった経験はこれからの国の庁舎整備で活かされるものだと思うので、今後につながる議論が出来たものと思っている。ただ、今後という点についてはこれから使う人間がまちづくりや維持管理という面で考えていくことが大事だと感じている。

●トイレの話だが、例えば歩行者天国などに来る人のために多機能トイレを休日使うだとか、観光客に色々な形でお知らせすることが出来れば、地域との連携が繋がっていくと思うが、帯広市で印刷物や広報などで広めていこうと考えてはあるのか。

●帯広市では数年に一度は観光マップを作成しており、トイレの情報等については今後載せていきたいと思う。

●障害者との懇談会では、障害者も街に出てきたいという意見は多いがトイレが使える場所が少なく残念だという話をよく聞く。せっかく立派な庁舎が出来たので土日に使えないのは残念。なんとか使えるようになれば良いのだが。

△全国的にみてもバリアフリーに関するマップを作成し観光客へ周知する動きが多くある。特にオストメイト利用者は場所がないと動きがとりにくいことが問題になる。トイレマップ等があればそこを目指して自由に散策できるとされているため、この庁舎も平日の決められた時間帯であれば利用出来るということが記載できれば良いと思う。管理官署として賛同頂けるかは今後の協議になると思うが、全国的に事例はあるので是非活用して頂きたい。

△以前に帯広市のホームページをみるとトイレのバリアフリーマップが掲載されていた。しばらく更新されていなかったため更新の経緯はわからないが、帯広市でもマップを作成していたようである。

●庁舎の管理上の問題もあると思うが、多機能トイレの休日利用については今後検討を行って頂きたい。

●現在は平日の開庁時間であれば多機能トイレは誰でも利用出来るが、閉庁時は職員以外は利用出来ない状態となっている。しかし、他の地域ではイベント時に要請があればトイレを解放する事例もあるため、相談頂ければ管理官署として検討したい。

●平日は多機能トイレが使えるということをバリアフリーマップに掲載することは問題な

いか。

- 問題ない。
- 冬場の除雪も管理は大変だと思うが、維持管理はどのように行っているか。
- 除雪は昨年から業務発注を行っており、一定量の積雪があれば除雪を行う契約となっている。

- 今年の確定申告の駐車場はどのようになっているのか。
- 今年の確定申告時期にはまだ駐車場が完成していなかったため、旧財務事務所と旧税務署の駐車場を開放していた。
- 今年からは駐車場の台数は合同庁舎の駐車場で大丈夫ということか。
- 駐車場の台数で対応しなければならないと考えている。駐車台数は以前に比べ合同庁舎の方が多。
- 駐車場も休日のイベントに貸してほしいと要望があれば検討頂けるものか。
- 必要な申請を行って頂ければ、内容によっては許可出来る場合もある。

- 庁舎が出来たらおしまいというわけでは無く、これを起爆剤として今後どのように活用していくかが大事だと思っている。そのために我々も考えていかなければならないと思っている。

(5) その他

- 今後のことと言うと、西3南9の再開発事業が現在進められている。オブザーバーで参加されてきた再開発の担当から状況を伺いたい。

オブザーバーより再開発事業に関する計画概要の説明

- 合同庁舎の道路向かいに建てられる施設の出入口は、合同庁舎の駐車場利用者の車と交差することがないように計画されているのか。道路が狭いため車両が互いに右折で入ると道路が渋滞する可能性があるが、この点についてはどのように計画されているのか。
- △合同庁舎の出入口と重複しないよう再開発の出入口を配置している。車両は左折で出入りするようなサイン計画とし、施設利用者へ注意喚起することも検討していきたい。

5 閉会

以上